



KLEINOD AM RING (クライノド・アム・リング) ウィーン/ オーストリア

高級感ある雰囲気の中に提供されるダイナミックなサウンドシステムは、オーストリアの著名な音響専門ヴォルフガング・ザウター (Wolfgang Sauter) 氏による優れた音響テクノロジーにより強化されています。

オーストリアの首都ウィーンを訪れると歴史ある街並みの中に、宝石のように素敵な空間が眠っています。クライノド・アム・リング (KLEINOD AM RING) は、快適さと賑わいを融合させた新しい高級な空間です。居心地の良いラウンジの雰囲気と、ムーディーな夜のダンスバーの雰囲気を絶妙に融合させた空間に、Pro Performance Sound + Acoustics 社は、熟練の音響設計と厳選された機材を駆使したダイナミックなシステムソリューションを生み出しました。それは、このバーの雰囲気、快適さ、そして営業スタイルに対するビジョンを反映したものでした。

【 The Jewel on the Ring - 指輪上の宝石 - 】

レストランやバーが、落ち着いたラウンジから賑やかなナイトライフスポットへ、どのような変貌を遂げられるか考えたことはありませんか？音質、デザイン、温かく華やかでありながら家に帰ってきたような安心感を損なうことなく実現できるでしょうか？

ウィーンの新たなナイトライフの宝石の一つ、クライノド・アム・リングの舞台裏を覗いてみましょう。

直訳すると「指輪上の宝石」。2025年2月にオープンした「AM RING」は、飲食店展開するクライノド・グループの4番目の店舗となります。この美しい宝石のようなレストランは、ウィーン1区の中心部、インナーシュタットに位置しています。クライノド・グループにとって、定評のあるダイニングとカクテル空間と、華やかでダンスも楽しめるナイトライフを融合させた初めての試みです。

【 高級感に溢れた雰囲気 】

2段階にわたり、クライノド・グループの経営陣である David Schober、Oliver Horvath、Salar Gerami は、チームのビジョンを反映し、店の雰囲気を作りながらデザインとスタイルを補完するシステムを模索していました。ゲストにとって最も重要なことは、この高級な環境でくつろぎ、快適に過ごすことです。

1階では、親密な雰囲気の中で美味しい食事とカクテルを楽しめます。

その後リフレッシュしたお客様は地下階へお進みいただき、音楽とダンスを満喫できます。地下階では、クライノド・アム・リングがエネルギーあふれるバーとダンスフロアへと変貌を遂げています。



地上階：レストラン&カクテルバー



レストラン、カクテルラウンジ、ダンスバーの境界線が曖昧になっていることは間違いありません。チームにとっての鍵は、一つ一つレベルアップしていく質の高い雰囲気を育むことでした。『一晩中エンターテインメントを楽しめる会場』という彼らの夢を叶えるために。パワフルなダンスバー環境のサウンドシステムは、視覚的に素晴らしいだけでなく音響的にも同等に優れている必要がありました。

■ New Horizon -新地平へ-

新たな目標が生まれると、課題が次々と生まれます。建物はクライノドの1階にあり、さらに6階まで続く集合住宅です。音響レベルを抑制し、避けられない遮音対策を施すことは、システム設置業者であるPro Performance Sound + Acousticsにとって必ず制すべき課題でした。

さらに、地下階のダンスバーは、長さ20メートルに対し幅わずか6メートルというトンネルのような建築構造を特徴としています。そのため、水平方向のコヒーレントな音波面、長い残響時間、均一な音分布、建築上の様々な制約に配慮した設置が求められました。

Pro Performance + Acousticsは、カスタマイズ可能でダイナミックなサウンドシステムを実現しました。地下階で駆動するのは、4000W/8チャンネルのPowerZone Connect 4008アンプ3台を統合した構成と、プレイズオーディオアンプ上流に設けられたDSPにはXilica Solaro FR1に、XC-SML (アナログ入力)、XC-SLO (アナログ出力)、XC-GP (GPIO) のカードを搭載したカスタムセットアップが採用されました。

■ Acoustic First -音響第一の設計-

CEOのヴォルフガング氏率いるPro Performance社は、音響を第一に考えたアプローチによるシステム設置で20年以上の経験と実績を誇ります。その手法はシンプルです。まず、部屋を調整し、次に高品質な製品を使用します。

ヴォルフガング氏は次のように述べました。

「技術的な側面に加え、音響は雰囲気を作ったり壊したりする要素である。私たちは考えています。このようなバーを作るには、非常に独特な雰囲気が必要です。空間を演出し、全体のコンセプトを支える製品を選ぶことが鍵でした。静かなラウンジのように会話を交わし、そこからクラブのようなダンスへと繋がる、ダイナミックなソリューションを求めています。」

■ トップエンドのパフォーマンス

CBL523は、このプロジェクトに最適なスピーカーでした。プロオーディオの価値を再定義することで知られ、スピーカー業界のベテランとして高く評価されているヒュー・サーヴィス (Hugh Sarvis) 氏によって設計されたCBL523は、Blaze AudioのCBLシリーズ (一定ビーム幅スピーカー) の一つです。

豊富な機能と革新的なデザインが評価され、CBL523 22台が選定されました。特に、3基の2インチHFドライバーによる垂直定指向性アレイが評価されました。非常にコンパクトなスピーカーでありながら、最大音圧レベル119dB、水平160°、垂直55°の集中的な音拡散パターンを実現しています。そして、CBL523の多様な取り付けオプションは、柔軟な設置を可能とします。



地下階：カクテル&ダンスバー

ヴォルフガング氏は次のようにも述べています。

「このスピーカーを選んだのは、水平160°の広い拡散性が得られるからです。スピーカーの前に立つ人や座る人同士の距離は、約0.5メートルから0.75メートルです。CBL523を2.5メートル間隔で配置することで、均一な音の分散という最初の大きな目標を達成できました。これに加え、短距離リスニングにおけるスムーズなレスポンスが、スピーカー選定の決め手となりました。」

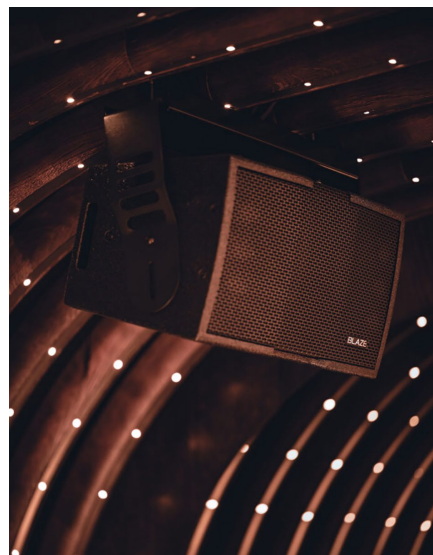
■ 部屋の調整

100〜200Hzを超える高音域は、クライノド・アム・リングの両フロアに253平方メートルの多孔質吸音材を配置することで対応しました。

低音域については、Pro Performanceはカスタムメイドのサブウーファーを採用しました。

一般的な構成の1台や2台の大型サブウーファーで重低音を響かせる代わりに、均一な音分布を実現するため合計19台の10インチ特注サブウーファーを1メートル間隔で設置しました。

部屋の片側のみに設置し、反対側の壁には反射音を吸収する特殊なメンブレン低音吸収材を設置しました。



CBL523をUブラケットで取り付け

“ CBL523のコストパフォーマンスを考えると、非常に有能で柔軟性があり、正しく統合させれば非常に優れたパフォーマンスを発揮するプロダクトであると言えます。 ”

-Pro Performance 社CEO、ヴォルフガング・ザウター



Lambda Labs 社が開発した FRPA モジュールは、奥行き 27cm、重量は 1 個あたり約 100kg です。25Hz までの音波を捉える能力は驚異的です。サイズが小さいため設計上の課題は多少ありますが、ヴォルフガング氏と彼のチームはこの部屋の調整に成功しました。

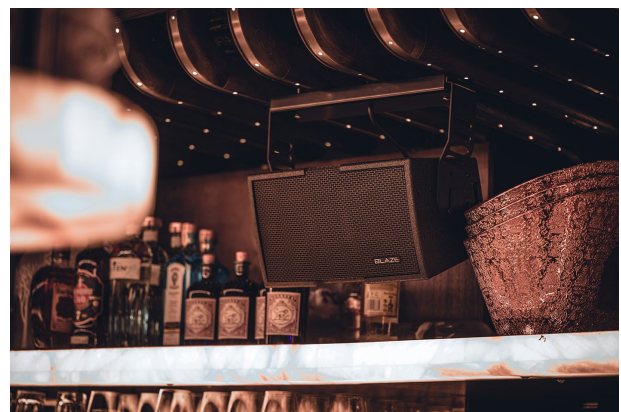
「調整前の残響時間は、あまりに長すぎました。今ではベース音も含めほぼスタジオレベル、最大で 0.6mS です。市場で適切な製品を見つけるのが難しかったため、このソリューションを選択しました」とヴォルフガング氏はコメントしています。

Reflecting on the End Result - 最終結果 -

高級な会場である「クライノド・アム・リング」は、会場同様に高いレベルの音響性能を目指しました。

Pro Performance 社の経験と **Blaze Audio** のアンプ/スピーカー製品と Xilica の DSP 製品を活用することで、臨場感あふれるサウンドを生み出すことに成功しました。オーナー、DJ、そしてお客様からは、「クライノドはサウンドクオリティを別次元へと引き上げた」という声が寄せられています。振り返って、ヴォルフガング氏は次のように締めくくりました。

「クライノドにとって、すべてのコンセプトを融合させ、一つのものを作り上げることが最大の課題でした。このプロジェクトの最大の成功は、新しいサウンドランドスケープを体験し感じ取ったお客様が、皆その新しいサウンドに絶賛し、『Oh、なんて素晴らしい場所なんだ!』と仰ってくださったことだと思います。」



この最終結果は、クライノド・アム・リングの雰囲気を実現するため関係者全員が行ったチームワークの質と努力の証です。

Pro Performance のブログから、同社のソリューションがクライノド・アム・リングの雰囲気をどうやって高めたかご確認ください。

また、CBL シリーズのスピーカーデザイナーであるヒュー・サーヴィス氏のインタビュー記事、[MONDO DR](#) もぜひお読みください。

Technical information

- 3 x BLAZE Audio [PowerZone Connect™ 2008](#)
- 22 x BLAZE Audio [CBL523](#)